

ふるさとへの思い熱く

体験就業など 夢前高生ら発表会

ふるさとを知り、思いを深める県立夢前高校（奥村政則校長、生徒数3339人）のイベント「ゆめさきの魅力発表会Ⅱ」が17日、姫路市夢前町前之庄の市北部市民センター大ホールであった。昨年に続く開催。今年は交通安全箇所調査、インタビューシンプ（体験就業）や大学のオープンキャンパス報告などに、生徒や保護者、地域住民らが耳を傾けた。

奥村校長が「『社会人基礎力』を培うため、しっかりと聞いてください」とあいさつ。岸野雅さん（16）ら1年生4人は「通学路における交通安全マップ制作を通して」の演題で発表した。インターネットに頼らず足を使ったフィールドワークで調べた見通しの悪い交差点や、歩道が無く車道も狭い道路を、スライドと動画を交えて紹介。「当たり前に通る道に危ない場所が多い」と注意を呼び掛けた。

パティシエ部の「米粉でつなぐ地域交流」は、小麦アレルギーの人でも食べられる米粉菓子で、今年初めて

域行事で販売したことを説明。生徒会保健委員会による歯磨きや朝ご飯アンケート結果のあと、山陽特殊製鋼と陸上自衛隊姫路駐屯地での体験就業、甲南大のオープンキャンパスに参加した2年生計3人が、仕事と進学への

元 中日・山本昌さん講演も



通学路の交通安全マップづくりについて発表する夢前高1年生
—姫路市夢前町前之庄の市北部市民センターで

思いを語った。

最後に、プロ野球・中日ドラゴンズで50歳まで現役を続け、219勝を挙げた山本昌さん（53）が「人としてのあり方・生き方」と題し講演。「今後何回も人生の転機が来るが、常に前向きに努力してほしい」と語りかけた。

【広田正人】